

第二期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（第3回）  
議事要録

日時 平成23年12月12日（木）午後7時～午後9時20分

場所 クリーンセンター3F 見学者ホール

出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、新垣俊彦委員、金子和雄委員、島森和子委員、高石優委員、飯村雅洋委員、山崎君枝委員、平田昭虎委員、岡田敬一委員、千綿澄子委員、園田治委員、木村文委員、藻谷征子委員、塩澤誠一郎委員、狩野耕一郎委員、越智征夫委員、高橋豊委員、村井寿夫委員、早川峻委員、高橋健一委員、興相信子委員、渡部敏夫委員

事務局（木村浩担当課長他）

コンサルタント（株式会社日建設 高津敬俊主管他）

欠席 高石優委員

傍聴 1名

配布資料 1. 次第、2. 前回意見の整理表、3. 岡田委員からの意見、4. 施設デザイン方針 5. 駐車場検討資料、6. ハード面の整理（駐車場）、7. プラットホーム変更案、8. 緑化検討資料、9. 東京都における自然の保護と回復に関する条例 10. アイスクリーム写真（塩澤委員作成）

1. 新施設の建築デザインについて（前回の意見整理）、駐車場の地下化に伴う課題、プラットホーム地下化の検討、東京都自然保護条例による緑地面積基準

事務局より前回の協議会において出された建築デザイン等に対する意見への検討状況について説明を行った。特に駐車場地下化、プラットホーム地下化、緑地面積の基準については、検討資料を交えて説明を行った。

- ・ **委員** 駐車場地下化検討資料において、「物理的に不可能」とあるが、どのような意味か。台数の確保が難しいのか、スロープの設置が難しいのか具体的な説明が必要である。
- ・ **会長** 事務局の説明において、そのことは口頭で説明があった。資料中に小さいが記載はされている。後ほど事務局から代替案の説明があると考えている。
- ・ **委員** 「物理的に不可能」という表現は妥当ではない。
- ・ **委員** プラットホームの変更案について、プラットホームの天井の高さが道路面とほぼ同じという説明であったが、その場合緑化はどのように行うのか。
- ・ **事務局** 高さ60cm程度のプランターのようにコンクリートを巻き、そこに土を入れて植栽を行うということになると考えている。緑地面積を確保するために、コンクリートで平地にしたうえで花壇や樹木を植えるなどを考えている。平地の部分は、芝生等ではなく、コンクリートやタイルとなるようなイメージである。
- ・ **会長** 前回までの斜面とする案から、バリアフリーの観点により、平地にした案が出てきている。しかし、緑地の見せ方はいろいろあり、全体のデザインの中で検討すべきことであると考えている。

- ・ **委員** 駐車場の17台というのは、この施設に必要な台数であるのか。また、大型バスの駐車場については、設置が必要なものなのか。
- ・ **事務局** 大型バス駐車場については、緑化面積を確保するためにも削除するつもりである。バスによる来訪頻度は高くないため、場内の空きスペースを利用して対応が可能と判断している。駐車場台数は、当初25台を想定していたが、計画の変更に伴いもう少し必要になってきていると思われる。次回までに建築指導課と再度調整しておきたい。
- ・ **会長** 現在の17台という数は、設置可能な台数が17台という認識である。素晴らしい施設ができれば、多くの見学者が来訪し、多くの駐車場が必要となることも考えられる。
- ・ **委員** 地下に駐車場を設けた場合には、年間にどれくらい維持費がかかるのか確認いただきたい。
- ・ **会長** 地下駐車場にした場合には、地下へ向かう車路が必要となり、芝生広場が分断されてしまう。イギリスでよくみかける風景で、羊が丘にいるものがあるが、あれは羊が逃げないように各所に溝が掘ってあるが、視覚的には一連になるように工夫がされている。費用面ももちろんであるが、視覚的に芝生広場が分断されることをどのように捉えるかということについて、議論が必要である。
- ・ **委員** 現在ピットになっている場所は、最終形では芝生広場になるのか。
- ・ **事務局** 最終形では、芝生広場になる。
- ・ **会長** 現在構造体となっているところを、壊すなどすると全体が崩れる可能性がある。全体をイメージして想像しながら検討していく必要がある。

岡田委員より、資料の説明を行った。その中で、エコセンターのデザインは、東西南北の周辺環境と調和したものとする、建物と一体となった回遊できるデッキを設けること、敷地内に休憩できるカフェなどを設けること、コストの観点から北側に駐車場を設け土手で見えなくするなどして駐車場は地上に設けること、バラ園の分散設置をすること、名称についてももう少し親しみやすい名称とすることが提案された。

## 2. 新施設の建築デザインについて（建築デザイン検討材料）

事務局よりエコセンター外観建築デザインの整理について説明を行った。

続いて塩澤委員より、資料の説明を行った。その中で、建物フォルムに関して曲線の要素を入れることが提案された。

- ・ **副会長** デザインの議論は非常に難しい。提案のように、最後は事業者の提案に問うという選択肢も考えられる。要求水準の中で、「曲線を用いること」と記載しても良い案は難しいと考える。建物に曲線など造形を用いる際には意味付けが必要であり、かなりの説得力がなければならない。箱形は箱形で、十分に良い造形ができると考えている。その上で外壁デザインやディテールにこだわるべきではないか。
- ・ **会長** デザインする側からすると、いくらでも曲線を用いることは可能であるが、それが全体の中でどのような意味を持っているのかが明確である必要がある。
- ・ **委員** 昔の工場には暖かさを感じさせるものがあった。下館で見たジュン&ロペのアウトレットは、大きな半円形のガラスがあり、そこから人の動きが見えるデザインであった。そういった機械など中の動きが見えるデザインを施すと工場でも親しみやすいものになるのでは

ないか。緑化の斜面についても子供が上って覗くとパッカー車が見えるといったような仕掛けを建築に生かしていけるとよいと考える。

- ・ **委員** 管理棟がいかにもというデザインとなっていてしまっており、もう少し芝生広場と一体となるようなデザインにするべきではないか。
- ・ **委員** 斜面をフラットにしたことは、大いに評価したい。また、レストラン等を設けられないということも理解をした。しかし、プラットホームの明り取りが工場のようなイメージがあるため、現在の階段をスロープのような階段にするなどして、北側・南側両側からアプローチできるとよいのではないか。
- ・ **会長** 管理棟については、少し曲線的な要素を交えてもよいかと考える。また、そこにコミュニティカフェのようなものができて、地域で運営していくということができれば、次にエコプラザができたときにさらにアイデアも広がっていくと思われる。ただ、要求水準書にどのように記載するかが問題である。
- ・ **副会長** 事務棟について、管理されているイメージが強いという意見があったが、むしろ総ガラス張りの管理棟というのは、大胆なデザインであり、他であまり見たことはない。
- ・ **会長** 副会長のような考え方も成立する。芝生広場の利用の多くは、土日であり、あまり利用者を見下ろして監視するという様相にはならないのではないか。一方でコミュニティカフェのようなものを設け、市民の目線からも交流できるようにソフト面を充実させていく必要があるのではないか。
- ・ **委員** フラット案について事務局に感謝している。市役所前から中央通りへの見通しがよくなったと感じている。デザインについては、まだ堅いところもあるが、今後議論を行い、改善できればと思っている。芝生広場については、全てを芝生とするのではなく、一部高木を植えてシンボルのように扱うこともできるのではないか。
- ・ **会長** 傾斜緑化もしくは階段の上がり方について議論が必要である。緑化については、やはり木陰は必要であり、緑化計画を含めて全体を考えたいので、今後議論していく必要がある。
- ・ **委員** 自転車置場についてどこに設置するのか確認したい。また、クリーンセンターにより人を集めるためには、体育館から回廊で繋げることがよいのではないかという話を他の委員としている。
- ・ **会長** 道路交通法上問題はないのか。道路上を活用するのは非常に難しい。
- ・ **事務局** まず自転車置場については、資料に記載のある場所に条例で定められた台数分の設置を予定している。また、回廊については、許可申請により認められることはあるが、原則として道路上に建物を建てることはできない。中央通りは、大型車輛の通行も多いため、関係機関との協議のうえで高さを設定する必要がある。実際に実施している例としては、三鷹の大成高校では、グラウンドと校舎の敷地が分かれており、そこを繋ぐために設けている。そういったかなり高い必要性が許可申請においては、求められることとなる。
- ・ **委員** 交差点を大型歩道橋のような口の字型として、体育館、クリーンセンター、野球場、テニスコートをつなぐことができるのではないか。
- ・ **委員** 個人的には四角いデザインが非常に好きであり、四角であっても工場のように見えない方法がいろいろとあると思われる。
- ・ **委員** 曲線を用いなくても外壁の素材によって、イメージを作り出すことはできると考える。ガラスを用いるなどして、中の様子が見えるようにするとイメージが変わるのではないか。

また、歩道橋についてのアイデアだが、逆に道路を横断するようなものが桜並木にあると、異物があるように感じられてしまう。スポーツで来訪された方は目的が異なり、クリーンセンターには別の機会に訪問いただければよいのではないか。

- ・ **委員** 中央通り上を通すことは、やはり難しいと考える。古くには、多くの歩道橋があったが、高齢化してくると上に上がるのは大変であり、結局使用せずに撤去されることが多くなっている。斜面をフラットにしたことにより、市役所側の角の使い方がいろいろと考えることができる。居心地のよい空間は、一方で子供たちがたむろして問題になるケースもあり、そこをどの様に管理していくかが重要な課題である。
- ・ **委員** 中央通りが大好きであり、自然の中に歩道橋のような異物が混在することは、望ましくない。
- ・ **委員** 曲線を用いた案やレンガを用いるなど明るい案など非常によいと考えている。緑町 1 丁目、2 丁目や緑町コミュニティセンターの関係について、今後いろいろなアイデアを出していければと考えている。
- ・ **委員** 歩道橋については、実施しない方がよいと考える。成蹊大学のところにも設置されているが、ほとんど利用されておらず、無駄なものと考えている。
- ・ **委員** 今は外形についての話をしているが、内装についての話は今後出てくるのか。
- ・ **会長** 見学者に関するものは、今後俎上に上がってくる。
- ・ **委員** 見学者ホールについては、天井にデザインを施し、星が見えるプラネタリウムのようなものにできると非常に夢があってよいと考える。
- ・ **委員** 屋上はどのように利用するのか。太陽光発電が可能であれば、設置したい。
- ・ **会長** エコプラザの屋上には設置するが、エコセンターの屋上は爆発時の衝撃を上に逃すために、そういったものは設置できない。
- ・ **委員** 歩道橋について、桜を間近に見られるという利点はあるが、年中利用するかと問われると、あまり必要ないのではないかと考える。外形について、基本的には四角でよいと考えている。曲線を用いるとどうしても無駄が生じてしまう。入口や窓、歩道に曲線を用いることで曲線のよさが出るのではないか。外観については、地域に溶け込むレンガ調のようなものが望ましいと考える。
- ・ **会長** 次回は 2 月に予定されており、そこまでに反映するためには、年内に意見をいただければよいと考える。2 月に議論を行い、3 月に要求水準を公表できるように議論を進めていきたい。
- ・ **副会長** プラットホームを下げてフラットにすることに関しては、共通認識が得られたと考えている。地下駐車場については、今回提案の分散配置で特に問題ないと受け取っている。建物全体のイメージとしては、工場らしくないデザインとし、機械を含めて中が見えるデザインとすることは共通認識が得られている。イメージとしては、親しみの持てるイメージを皆が持っているというように感じている。いずれにしてもデザインに関しては、かなり高いものを事業者に求めるということで、今後評価をどのようにしていくかなど詰めていくことが重要である。
- ・ **会長** 市役所の外観と齟齬が無いような柔らかい色合いという外観イメージということで認識している。具体的な内容については、もう少し考える必要がある。ただ、多数決に依るような決め方は相応しくないとされるため、最終的には副会長のデザイナーとしてのセンス

に託して事業者選定を行ってもらふことになる。また、緑が映える場所であり、それを生かしたイベントを開催するなど広場をどのように生かすかソフト面での検討が必要である。ごみの歴史を全国にどのように発信していくかも重要なことである。

### 3. その他について

- **委員** 次回委員会が2月に開催されるが、委員側の議論が十分にできているとは思えない。もう少し自由な議論する場を1度持てればと考えるが、どうか。
- **会長** 全体のデザイン性、方向性は議論で集約していくことは難しいのではないか。その前提がないと行ったり来たりを繰り返し、積み上げてきたものを壊してしまう可能性もある。いろいろ意見が出て、最後に集約するところが一番難しい。
- **委員** この場では解決できないことも多く、分科会でも構わないので、都合のつく方だけでも議論できる場を1月に設けたほうがよいと考える。もう少し案を熟す必要があるのではないか。
- **会長** 委員会として開催しないのであれば、自分たちのコンセプトを色で表現するなどといった程度に留めておくのがよいのではないか。ここから意見を集約することは、非常に難しい。今日の事務局案も委員会での議論に基づいて、提示されてきており、決して一方的なものではない。しかし、それぞれの委員の懸念点に話がいきってしまい、どうしても全体の議論ができなくなっている。もう少し全体の色調をどうするかといったことについて、ワークショップを開催するなどしてはどうか。また、その際の司会を誰がやるかということも重要である。
- **委員** 議論を集約していくというよりは、前回模型を見ながら色々と意見をしたような場が欲しいと考えている。
- **会長** この会議は決して条件闘争ではない。委員がそれぞれ議論を行うのは構わないが、模型を基にしてしまうと発言が縛られてしまい、2月の会議につなげていくのは難しいのではないか。
- **会長** 大学関係者は、1月は非常に忙しい時期であり、各委員による開催に委ねざるを得ない。
- **事務局** 次回は、2月23日19時からとしたい。ここ数回建築デザインについて皆さんの意見を集約したうえで、資料の作成を行ってきたが、間隔が短いこともあり、十分に応えられないところもあった。次回までは時間があるため、副会長と相談のうえ、本日の意見を集約した案を提示できればと思っている。その過程において、意見が言い足りない委員については、意見を伺う場を1月に設けたうえで、2月の協議会を開催できればと思っている。
- **会長** 日程調整については、事務局で行うのか。
- **事務局** 行う。

会長より閉会挨拶。

以上